

第201回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問題1

問1

製造間接費の標準配賦率 [4,200] 円/時間

予想配点：2点

問2

当月完成品原価 [43,120,000] 円

月末仕掛品原価 [14,460,000] 円

予想配点：各5点

問3

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕掛品	21,350,000	材料	21,350,000

予想配点：5点

問4

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕掛品	6,144,000	賃金	6,144,000

予想配点：5点

問5

借方科目	金額	貸方科目	金額
材料	68,000	材料消費価格差異	68,000

予想配点：5点

問6

原価差異の総額 [Δ 1,935,000] 円

予想配点：3点

材料数量差異

材料Xの材料数量差異 [Δ 800,000] 円材料Yの材料数量差異 [Δ 150,000] 円

製造間接費差異

予算差異 [Δ 187,000] 円能率差異 [Δ 264,000] 円操業度差異 [Δ 270,000] 円

予想配点：各4点

問7

材料の購入時における材料受入価格差異99,200円（有利差異）を認識し、材料受入価格差異勘定から材料消費価格差異勘定に68,000円（有利差異）を振り替える。

予想配点：8点

問題 2

問 1

① の方法

仕掛品							
前月繰越	[★	4,738,000]	製品	[★	32,300,800]
諸口	[30,853,975]	原価差異	[]
原価差異	[★	190,225]	次月繰越	[★	3,481,400]

(注) 記入する必要のない空欄はそのままにしておくこと。

② の方法

仕掛品							
前月繰越	[★	4,600,000]	製品	[★	32,300,800]
諸口	[30,853,975]	原価差異	[]
原価差異	[★	226,825]	次月繰越	[★	3,380,000]

(注) 記入する必要のない空欄はそのままにしておくこと。

予想配点：★各3点

問 2

正常仕損は工程の終点で発生しているため、月初仕掛品や月末仕掛品の標準原価には正常仕損費を含めるべきではないが、①の方法によると含める結果となってしまうため。

予想配点：6点

問題 3

名称 現実的標準原価 ★

意味 現実的標準原価とは、良好な能率のもとにおいて、その達成が期待されうる標準原価であり、原価管理に最も適する標準原価である。 ☆

予想配点：★2点
☆4点

名称 正常的標準原価 ★

意味 正常的標準原価とは、経営における異常な状態を排除し、比較的長年にわたる過去の実際の平均的数値に将来のすう勢を加味して決定される標準原価である。 ☆

※正常的標準原価は正常原価でも可。

予想配点：★2点
☆4点

第201回簿記能力検定試験

上級 原価計算 **解答速報**

問題 1

問 1

配賦率 [320] 円/時

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	1,600 円	2,560 円	2,240 円

予想配点：各2点

問 2

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	21,600 円	416 円	2,528 円

予想配点：各4点

問 3

[76,800] 分

予想配点：3点

問 4

[50] 円/分

予想配点：3点

問 5

段 取	2,000	円/回
マテハン	750	円/回
検 査	3,000	円/回

予想配点：各4点

問 6

	製品A	製品B	製品C	計
段 取	★ 360,000 円	20,000 円	100,000 円	★ 480,000 円
マテハン	1,500,000 円	★ 375,000 円	1,125,000 円	3,000,000 円
検 査	75,000 円	15,000 円	★ 30,000 円	120,000 円
合計	★1,935,000 円	410,000 円	1,255,000 円	★3,600,000 円

予想配点：★各2点

問7

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	19,350 円	410 円	2,510 円

予想配点：各2点

問8

[240,000] 円

予想配点：4点

問題2

問1

製品の組み合わせ

製品X	製品Y	製品Z
800 個	2,000 個	400 個

予想配点：3点

利益額 [75,600] 円

予想配点：6点

問2

加重平均貢献利益率 [21.6] %

損益分岐点売上高 [2,150,000] 円

安全余裕率 [14] %

予想配点：各3点

問3

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが（ 800 ）個、製品Yが（ 1,600 ）個、製品Zが（ 1,500 ）個であり、その時の全体の利益は（ 105,600 ）円である。当初の利益より（ 30,000 ）円利益が（増加・減少）*するので、この固定費の追加は（行うべきである・行うべきではない）*。

*は該当するものに○をすること。

予想配点：1文目、2文目各4点

問4

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが（ 800 ）個、製品Yが（ 2,000 ）個、製品Zが（ 400 ）個であり、その時の全体の利益は（ 55,600 ）円である。当初の利益より（ 20,000 ）円利益が（増加・減少）*するので、この固定費の追加は（行うべきである・行うべきではない）*。

*は該当するものに○をすること。

予想配点：1文目、2文目各4点